

認定社会福祉士 誕生！ 記念講演・シンポジウム

認定社会福祉士への期待



2007年の社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正法の附帯決議で、社会的援助を必要とする者が増加していることにかんがみ、重度の認知症や障害を持つ者等への対応、サービス管理等の分野において、より専門的対応ができる人材を育成するための「専門社会福祉士」の必要性が指摘されてから約7年、調査研究、認定社会福祉士認証・認定機構の立ち上げなどを経て、2014年4月に新たな民間資格としての認定社会福祉士が誕生しました。

このことを記念し、記念講演・シンポジウムを開催します。認定社会福祉士はどこでどのような実践を行っているのか、社会福祉士が所属する施設機関等ではどのような活用をしていけるのか、それらをふまえて社会は認定社会福祉士に何を期待できるのか、認定社会福祉士制度の意義を再確認するとともに、認定社会福祉士が社会に果たす役割を考えます。

この度のシンポジウムでは、NHKドラマ10「サイレント・プア」のチーフプロデューサーである陸田元一氏をお迎えし、第三者としてジャーナリストの視点からご発言いただき、現代社会が求める認定社会福祉士の役割について考えます。

なお当シンポジウムは(財)社会福祉振興・試験センターの助成事業として実施します。

プログラム

13:00～

開会挨拶

橋本 正明
認定社会福祉士認証・認定機構長 (福) 至誠学舎立川常務理事

登録証授与式

鎌倉 克英
認定社会福祉士登録機関長 (福) 寿友会常務理事 日本社会福祉士会会長

経過報告

岡本 民夫
機構個人認定委員会委員長 日本ソーシャルケア協会会長 同志社大学名誉教授

13:30～14:15

基調講演Ⅰ 『認定社会福祉士へ期待すること』(仮)

岡田 太造 氏
厚生労働省社会・援護局長

14:15～15:00

基調講演Ⅱ 『認定社会福祉士制度の意義とこれからの展望』(仮) 梶本 一三郎 氏

上智大学教授

15:15～17:00

シンポジウム 『認定社会福祉士取得を目指す意義と認定社会福祉士への期待』(仮)

【コーディネーター】

市川 一宏 氏
ルーテル学院大学学事顧問

【シンポジスト】

佐伯 まどか 氏
日本医科大学多摩永山病院・認定社会福祉士(医療分野)

石飛 勝 氏
鳥根県出雲児童相談所・認定社会福祉士(児童・家庭分野)

久木 元司 氏
社会福祉法人常磐会 理事長

陸田 元一 氏
「サイレント・プア」チーフプロデューサー (NHK制作局第2制作センタードラマ番組部)

17:00～

閉会挨拶

大嶋 巖
認定社会福祉士認証・認定機構理事 日本社会事業大学学長

2014.8.2[土] 13:00-17:00
受付は 12:30-

文京学院大学 本郷キャンパスD館6階『スカイホール』
(東京都文京区向丘1-19-1)

入場無料

定員：180名

主催 認定社会福祉士認証・認定機構

後援 福祉系大学経営者協議会

お申込みは裏面参加申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。
申込期限は7月25日(金)までですが、定員になり次第締め切ります。

アクセス

- 東京メトロ南北線
「東大前」駅下車(2番出口)徒歩0分
- 都営三田線
「白山」駅下車(A2出口)徒歩10分
- 東京メトロ千代田線
「根津」駅下車(1番出口)徒歩10分



認定社会福祉士制度

相談援助の国家資格である「社会福祉士」は現在約16万5千人の資格取得者がいます。福祉施設や福祉に関する相談機関の他、病院や学校、刑務所等にも多くの社会福祉士が活躍しています。

2011年10月30日、社会福祉士の実践力を担保する民間認定の「認定社会福祉士制度」を制定し、当制度を運用する「認定社会福祉士認証・認定機構」を立ち上げ、2012年から研修認証を開始、2013年に認定社会福祉士の認定審査を行い、2014年4月、社会福祉士の実践力を担保するはじめての民間認定資格である「認定社会福祉士」が誕生しました。

■ 認定社会福祉士制度の趣旨 ■

近年の社会環境の変化に伴い、地域住民への社会的援助ニーズが増加・多様化し、その問題解決は複雑・困難化してきています。例えば、重度な認知症高齢者の増加に対する在宅生活への支援、高齢者や障害者、児童への虐待対応や防止への対応、さらには自殺者や孤独死、生活困窮者や若年失業者などの地域生活への支援が挙げられます。このような状況において、その解決を支援する社会福祉士への期待はますます高まっています。

社会福祉士がこれらの相談へ対応するためには、その能力開発とキャリアアップを支援し、その習得した実践力を担保する制度を創設し、広く国民に活用されることが必要です。認定社会福祉士制度はそのための仕組みです。

なお、当制度は社会福祉士及び介護福祉士法改正時の参議院及び衆議院の附帯決議（2007年4月26日・11月2日）でもその創設が指摘された事項です。

■ 2段階の認定 ■

社会福祉士の実践力に応じて2段階の資格を設定

★認定社会福祉士

「高齢分野」「障害分野」「児童・家庭分野」「医療分野」「地域社会・多文化分野」の5分野の分野ごとの専門性を担保します。認定された分野において専門的な支援方法や制度に精通し他職種とも連携して相談に応じます。

★認定上級社会福祉士

自らの専門的な分野に加え、複数の分野にまたがる地域の課題についても主導的な役割を果たします。

★認定機構参画団体

- 日本社会福祉士会
- 日本医療社会福祉協会
- 日本ソーシャルワーカー協会
- 日本社会福祉教育学校連盟
- 日本社会福祉士養成校協会
- 日本精神保健福祉士養成校協会
- 全国社会福祉法人経営者協議会
- 全国社会福祉協議会中央福祉人材センター

■分野別登録者数

分野	人数
高齢分野	9
障害分野	3
児童・家庭分野	1
医療分野	161
地域社会・文化分野	4
合計	178

■認定社会福祉士の登録者の「氏名」「認定された分野」「勤務先」等は認定社会福祉士登録機関である日本社会福祉士会のホームページで公開しています。<http://www.jacsw.or.jp/>

★認定機構役員名簿（2014・2015年度）

機構長 橋本 正明（至誠学舎立川）

理事

- 市川 一宏（日本社会福祉士養成校協会）
- 岡本 民夫（日本ソーシャルワーカー協会）
- 佐原まち子（日本医療社会福祉協会）
- 鎌倉 克英（日本社会福祉士会）
- 武居 敏（全国社会福祉法人経営者協議会）
- 大嶋 巖（日本社会福祉教育学校連盟）
- 福母 淳治（中央福祉人材センター）
- 石川 到覚（日本精神保健福祉士養成校協会）
- 潮谷 有二（会員外）
- 栃本一三郎（会員外）
- 山村 睦（会員外）

監事

- 野口 定久（日本社会福祉系学会連合）
- 山岸 正夫（公認会計士）

認定社会福祉士制度の概要

資格	認定社会福祉士（〇〇分野）	認定上級社会福祉士
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属組織における相談援助部門のリーダー ・ 高齢者福祉、医療など、各分野の専門的な支援方法や制度に精通し、他職種と連携して、複雑な生活課題のある利用者に対しても、的確な相談援助を実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属組織とともに、地域（地域包括支援センター運営協議会、障害者自立支援協議会、要保護児童対策協議会等）で活動。 ・ 関係機関と協働し、地域における権利擁護の仕組みづくりや新たなサービスを開発。 ・ 体系的な理論と臨床経験に基づき人材を育成・指導。
役割	<ul style="list-style-type: none"> ①複数の課題のあるケースへの対応 ②職場内のリーダーシップ、実習指導 ③地域や外部機関との窓口、緊急対応、苦情対応 ④他職種連携、職場内コーディネート等 	<ul style="list-style-type: none"> ①指導・スーパービジョン ②苦情解決、リスクマネジメントなど組織のシステムづくり ③地域の機関間連携のシステムづくり、福祉政策形成への関与 ④科学的根拠に基づく実践の指導、実践の検証や根拠の蓄積
分野	高齢分野、障害分野、児童分野、医療分野、地域社会・多文化分野等	自らの分野における実践に加え、複数の分野にまたがる地域の課題について実践・連携・教育
認定人数	実践者全員の取得を目標とする 制度開始時：200名/年 → 5年後：2,000名/年	特定の者が目指す 制度開始時：50名/年 → 5年後：100名/年
認定要件	<ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉士資格 ②ソーシャルワーカーの職能団体の正会員 ③相談援助実務経験5年以上 ④定められた経験目標（経験すべき実務）の実績 ⑤認証された研修の受講 研修：20単位以上 スーパービジョンを受ける：10単位以上 ※更新制（5年） 	<ul style="list-style-type: none"> ①認定社会福祉士と認定されていること ②ソーシャルワーカーの職能団体の正会員 ③認定社会福祉士資格取得後相談援助実務経験5年以上（資格取得後最低10年以上） ④定められた経験目標（経験すべき実務）の実績 ⑤認証された研修の受講 研修：20単位以上 スーパービジョン10単位以上（実施5単位、受ける5単位） ⑥教育、研究、社会活動の実績 ⑦口述試験、論述試験 ※更新制（5年制）
個人認定	上記要件を満たすことを「認定社会福祉士認証・認定機構」（事務局：日本社会福祉士会 → 5年後見直し）が認定	
研修認証	要件を満たす研修（職能団体、学校・養成施設、都道府県研修機関等が実施）を「認定社会福祉士認証・認定機構」が認証	

認定及び認証についてのプラットフォームのイメージ

